

コース35 こまゆみだけ 子檀嶺岳

リーダー CL T/K SL S/K
 実施日 平成30年10月7日(日)
 天候 晴れ グレード B~B上
 参加者 21人 (男性 5 女性16)
 コースポイント



子檀嶺岳 1,223m

ポイント	到着時間	出発時間	備考
荻川駅東口		5:50	駅西口から秋葉区役所経由
松代PA	9:10	9:30	米山SAに立ち寄る
坂城IC		9:45	流出
当郷管社登山口	10:20	10:35	前半は緩い九十九折の道(中間点の林道まで止め山のため、山菜・キノコ・草花木を採ったり折ったりはダメ)後半は急登でジグザグの道
子檀嶺岳頂上	12:30	13:25	
当郷管社登山口	14:40	15:10	
麻積IC		15:50	流入
小布施PA	16:20	16:40	買い物、米山SAに立ち寄る
荻川駅東口	19:45		秋葉区役所から駅西口経由

山行等概要(幹事のコメント)

- 台風通過後の強風警報発令の中出発。バスの運転手から「強風でバスが揺れますが、安全運転で行きます」と挨拶あり。
- 長野県に入ると天気は上々、青木村に入り当郷で右折、目の前に特徴ある台形の子檀嶺岳が見え、10分程で登山口の当郷管社に到着。
- 登山道を進み「獣害柵」を開けて中に入る。緩い九十九折の道を登ると「茸止め山入山禁止」の看板、松茸山なので関係者以外入山禁止、登山者は通行可能。我が会で自然に生えた松茸を初めて見た人、手で触って香りを覚えた人、一瞬楽しみました。
- 落葉松林を通り過ぎると広い林道に出る。ここから狭い登山道、以前鳥居を潜ってジグザグの急な登山道を登ったが、今は鳥居はなし、急登な登山道だけ。
- 頂上は狭いが、360度の風景を楽しむ。
- 狭く急登な登山道をゆ



子檀嶺岳頂上にて

っくり下山、当郷管社に到着。登山中は雨の心配もなく過ごす事ができ、又数本のトリカブトの花を見て、思い思いに楽しみ写真を撮る。

- 予定より40分程遅れて到着。皆さんのおかげで楽しい一日を過ごしました。ありがとうございました。

子檀嶺岳（こまゆみだけ）に参加して

(237) R/H

子檀嶺岳（こまゆみだけ）…振り仮名がないと、難しくて読めない山の名です。

子檀嶺岳（別名冠者岳）…長野県上田市の近く、青木村にある山です。

古くから地元の人たちには信仰の対象として崇められていた山で、信州100名山のひとつです。

青木村に入り、登山口に向かうと管社の鳥居が迎えてくれます。その先に子檀嶺岳が見えてきます。車を降りて集落の中を進むとフェンスがあり、開けて中に入り歩き始めます。「鹿よけのフェンスかな？」とつぶやくと、「いや、人間よけかも」と話す人がいました。



子檀嶺岳九十九折の登山道

登山口は3カ所ありますが、私たちは当郷コースを登ります。まず、

目指すは鳥居です。登り始めは竹林の中を歩きます。しばらくは緩やかだが長い石畳の登山道です。畳石山というそうです。しばらく歩くと、今度は赤松林にかかります。赤松なので松茸が出るようで登山道はロープが張られて中に入れなくなっていました。

この辺の山は赤松林で、1年分の山の権利を買い取って、松茸の収穫をするとのことでした。ちょうど松茸を取っている人がいましたが、結構収穫があったようです。

鳥居を目指して歩きますが、なかなか鳥居が現れません。しばらく歩くと今度は林道に出ます。杉林で伐採作業をしている様です。林道をしばらく歩くと左手に鳥居のある山頂の登り口に着きましたが、鳥居が立っていません。よく見ると、鳥居は壊れて登山道のわきに無残に置かれてありました。ここからが本格的な登山です。木立の中を急峻な登山道に入ります。山道に咲くトリカブトの花が心を和ませてくれます。

登山道を歩くこと約50分。急坂のジグザグの登りです。登りついたところが山頂でした。山頂はあまり広くはないですが、祠が祭っており、眺望は良い山で、眼下には上田市の街並みが見えます。眺めを満喫しながら、少し遅い昼食をとりました。ゆっくり休んでから下山になります。急坂なので慎重に下りました。赤松林では登山道のわきに松茸らしい茸を見つけましたが、横目で見ながら通過です。全員無事に登山口につきました。



子檀嶺岳頂上から見た塩之人池と青木村の村々

木々も少し色付き始め、秋色濃い秋の登山を楽しむことのできた1日でした。同行の皆さんに感謝です。

また、私ごとですが、登山の途中、山頂直下、私の不注意で足を滑らせて石に膝をぶつけ、怪我をしてしまいました。幸い痛みもなく手当をしていただいて、無事山頂まで登ることが出来ました。

みなさんに、ご迷惑、ご心配をかけてしまい、申し訳ありませんでした。



子檀嶺岳中間点林道にて